

平成26年度 第3回泉南支援学校 「学校協議会」 記録

(司会：松浪教頭 記録：泉南＝虎野首席)

1 日時 平成27年1月28日(水) 9:30～12:00

2 場所 大阪府立泉南支援学校 会議室

3 次第

- (1) 学校長あいさつ
- (2) 協議 学校教育自己診断の結果より

(貴志教頭) 学校評価アンケート結果報告と問題点

- ・アンケートの回収率の報告
 - ・保護者用アンケートより、肯定的な評価が80%を下回る質問項目は、「子どもに適した学習が行われている。」であった。
 - ・保護者用全項目について学部別にみると、肯定的な回答は、小学部>中学部>高等部の順に低くなっている。
 - ・教員用アンケート結果については、保護者用と同様に肯定的な評価が80%を下回る質問項目は、Q3,8,9,11,14,16,18,20であった。
- 以上に絞って委員の方のご意見をいただきたい。

(西岡委員) 教職員回収率100パーセントは、素晴らしい。

(高見委員・瀬戸委員)

小学部>中学部>高等部の問題については、PTA活動等の参加も少ないので理解できる。

(委員長) なぜ80パーセントでの線引きをしているのか。

(貴志教頭) 評価項目5件法のトップ2をみると他の項目は、80%を超えており、1項目だけ低い項目を抽出するのに80%は、適当な数値であると考えた。

(委員長) 評価の高い項目だけでなく、低い評価をどんな気持ちでつけたかを謙虚に考えることが大切。

(高見委員) 「子どもに適した学習が行われている。」の結果について、保護者の中でも意見が分かれるところである。子どもの障がいの程度の認識や、保護者のニーズが学習内容と合っているかが、教える側との意見の差がある。

(西岡委員) 保護者の実態受容やアセスメントを基にした課題・ねらいの理解やニーズについての進め方など、学校からの情報発信の仕方に工夫が必要である。

(重見委員) 施設でも親のニーズとズレがある。視点が違くとズレが生じる。しっかり共通理解する必要がある。

(委員長) 目標設定がしっかりできているかが大切。

(奥野委員) 教員の満足度が低い項目については、保護者の評価の低いところと一致しているのではないか。

(油田委員) 100パーセント満足は難しいと考える。保護者アンケートの評価が小学部>中学部>高等部と低くなる結果が気になる。長年在籍するのに評価が下がるのは不自然である。

(委員長) 学習内容をアセスメントと親とのわかりあいで詰めていくことが大切。また、教員の満足度については、自己反省を含めてチェックしている人も多いと思う。

(家門校長) 個別の支援計画についての部分で、教員が低いのが情けない。

(委員長) 障がいを受け入れ入学してくる時の保護者は熱心である。進路については関心があるが、関心度的には低くなるのではないか。

(委員長) まとめ、アンケートについて校内でしっかり分析し、目標をたててください。また、アンケートの自由記入の部分もしっかり反映させる必要がある。学校経営計画と保護者の評価が反映させるものになってほしい。質問項目についても、読み手のとりかたで評価が変わってくるのでより具体的なものへの検討が必要である。

(3) 報告

・平成26年度学校経営計画達成状況

(家門校長) 26年度分 自立活動とキャリアを来年に向けてさらに向上させていきたい。この部分は今年の成果でもある。27年度分は中身は変わっていない、資料下線部が変更点、来年度保護者と一緒に防災、特に通学時の対応について考えていく。

・大規模災害に対する取り組みについて

(貴志教頭) 本校が泉南市の準避難所になる予定である。準避難所は、避難所がいっぱいになった時の予備的なものである。

・企業就労するまでに必要な力 アンケート集計報告

(松浪教頭) 佐野・すながわと協力し実施。教員用は集計中今後分析をし、活かして行く。

(委員長) 企業と教員の結果の違いは？

(松浪教頭) 上位の三つが少し違っている。分析についてよいやり方があればご意見いただきたい。

(4) 校長あいさつ

(5) 校内授業見学

4 今後の予定

☆来年度の学校協議会 年3回(6月、10月、1月午前中に開催予定)

<次年度の方針>

泉南支援学校とすながわ高等支援学校、別日程で開催する。